

平成23年度 第16回 経営戦略会議 審議結果

日時：平成24年2月20日（月）10：35 ～ 11：30

場所：5階庁議室

【議 題】 熊本市生涯スポーツマスタープランの改定について

【提 案 局】 観光文化交流局

説明者：坂本観光文化交流局長（寺崎スポーツ振興課長）

【出 席 者】 幸山市長、西島副市長、寺崎副市長、岡企画財政局長、重浦総務局長、飯銅市民生活局長、續健康福祉局長、前渕子ども未来局長、原本環境保全局長、宮原農水商工局長、高田都市建設局長、馬場病院事業管理者、廣塚教育長

【付議内容】 熊本市生涯スポーツマスタープラン（改定案）を確定したい。

【資 料】 ◇付議事項調書（様式1）

◇新 熊本市生涯スポーツマスタープラン（仮称）素案＜概要版＞

◇新 熊本市生涯スポーツマスタープラン（仮称）素案

◇政策調整会議内容検討表（様式4）

【審議結果】 ◆一部修正のうえ了承

【議事概要】 ◇「新 熊本市生涯スポーツマスタープラン（仮称）」の素案を確定した。

【主な意見】 ◇健康づくりを含めた幅広い意味でのスポーツということであれば、例えば太極拳やラジオ体操、ひいてはリハビリも運動の一環と言えると思う。そう
なると、健康づくりにおいて別の組み立てがいると思う。（西島副市長）
→健康くまもと21の中で、健康づくりとしての運動を推進しているところ。
なお、健康くまもと21については平成24年度に改訂予定であり、その中
で、運動の推進についても検討する必要があると考えている。（續健康福祉
局長）
◇みんなで参加という理念があるということは、競技力の向上やコンベンショ
ン推進も、最終的にはその理念達成に寄与するということか。またそれは今
回のマスタープランでの新たな考え方か。（幸山市長）
→基本施策は全てその理念の達成に寄与するものとして位置付けているところ。
その理念自体は、現行のマスタープランから引き続き掲げている。今後、
健康福祉局と連携していきたい。（寺崎スポーツ振興課長）
◇このプランの中で、学校スポーツはどのように位置づけられているのか。（重
浦総務局長）
→学校教育の中での活動も、生涯スポーツの一部と考えているが、スポーツ振
興課としては、それを地域などで支える部分を担っていくことになると考えて
いる。スポーツに親しむきっかけづくりをしていきたいので、連携しながら
進めていきたい。（寺崎スポーツ振興課長）

- ◇ロアッソ熊本については、スポーツコンベンション推進にも位置づけられるのではないか。(續健康福祉局長)
- ロアッソ熊本の対戦相手の都市から、多数の方が来熊されることを考えれば、そうした方々への観光面での働きかけについても、考えていきたい。(寺崎スポーツ振興課長)
- スポーツ関係団体との連携の中に、ロアッソ熊本も含めれば良い。(寺崎副市長)
- ◇策定方針に、スポーツとの多様な関わり方として「する」「みる」「きわめる」「まなぶ」「ささえる」があげられている。これが分かりやすいので、そこを切り口に市民に見せていくと良いのではないか。(前渕子ども未来局長)
- そういう方向で市民に見せるよう考えていきたい。(寺崎スポーツ振興課長)
- ◇地域スポーツ活動の支援の中で、区ごとに特色あるまちづくりを進めていくことを、より強調した書き方に修正すると良い。(西島副市長)
- ◇今回の熊本城マラソンにおいても、実施した結果運動に対する意識が向上していることを考えると、スポーツコンベンションによるまちの賑わいの創出だけではなく、そういうこともめざす姿として記載すべき。(廣塚教育長)
- ◇施策展開のイメージ図において、年代別の施策に違いが見られない。このようにしか整理できないのか。(高田都市建設局長)
- もう少し施策をきちんと書くと良い。(寺崎副市長)